

株式会社ジェイコム千葉 東関東局 2020年度放送番組審議会議事録

<放送番組審議会委員>

坂 詰 宮 子 様 佐 藤 英 明 様 庄 子 進 様
関 学 様 田 口 恵 一 様 平 井 克 己 様

(50音順)

2020年度の放送番組審議会は、昨年同様に新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、番組審議会委員と事業者の対面での審議は実施せず、事業者側より審議会委員に対して書面をもって現況報告及び J:COM チャンネルの取り組み、放送実績についての報告を行い、審議会委員より書面にて J:COM チャンネルに対する意見、要望を聴取した。

■「ジモト応援！つながる News(デイリーニュース)」について

(委員からの意見)

番組を視聴しての感想は、概ね良好。地域メディアならではの情報提供を期待する。この他には、取り上げる自治体数が多く、該当自治体にたどり着くまでの時間が長い。高校生の広域スポーツの情報を盛り込んで欲しいとの意見もあった。

(事業者)

- ・新型コロナウイルスの影響と感染防止策により、平時とは異なる番組制作を実施。自治体の情報は、インターネットに不慣れな高齢者の方を意識した構成となっている。
- ・広域高校スポーツに関しては、千葉県CATV連盟と共同で、高校野球千葉県大会の特別番組を提供している。その他のスポーツについての要望も頂いており検討中である。

■「東関東人図鑑」について

(委員からの意見)

出演者の好感度が高く、また、多彩なジャンルのゲストについては好評。「人物」を紹介する番組のため、事前取材に関しての取組を大切にとの意見を頂いた。

(事業者)

- ・出演者の方の人柄や経歴、今後の抱負などを伺うため、「過去・現在・未来」の3つのテーマにて番組を構成している。番組制作は、事前取材、トーク集約原稿の確認など、現場での綿密な打合せを実施している。

■「東葛一直線」について

(委員からの意見)

元気ができるなど、お褒めの言葉を頂くが、出演者が「芸人」であるため、ジャンルが異なる分野(スポーツ実況等)には不向きではないか、とのご意見を頂く。また、音声・文字について、一部、聞き取りにくい、見難いなど、技術的なご意見もあった。

(事業者)

・地域の方の笑顔を引き出すための「芸人」のキャスティングをさらに活かすためにも、番組制作の際、演出方法等を検討する。音声・テロップに関しては、技術面での改善に努めてまいります。

■「音街かしわ」について

(委員からの意見)

イベントを新たな形で継続した姿勢に、意義を感じて頂く。

(事業者)

・コロナ禍の中でのオンライン放送を、実行委員会等、地域の方と協業で実施した。
次年度も更なる向上を目指します。

■「コミュニティチャンネル(11ch)編成」について

(委員からの意見)

ニュース番組を中心に番組の長さや放映する時間帯に関しては、概ね適当ではないかとのご意見を頂く。この他、番組ジャンルを広げて欲しい、スマホアプリも良いが、TVならではの画面での視聴を望む声もあった。

(事業者)

・チャンネル編成に関しては、日々内容の充実を検討しております。今回ご意見を頂いた番組の他にも、プロスポーツや花火大会、駅伝競走大会など、東葛地域に根差した番組制作を行っております。弊社としても、地域の皆様が「今何を求めているか」といったニーズを把握しながら、今後のチャンネル運営に取り組んでまいります。

以上